1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

T 1. N (1/1 M) (1/1					
事業所番号	2295300129				
法人名	特定医療法人 駿甲会				
事業所名	グループホーム 実夢青木 (2ユニット合同)				
所在地	静岡県藤枝市青木2丁目15-5				
自己評価作成日	平成27年9月3日	評価結果市町村受理日	平成27年10月13日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaigokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=2295300129-00&PrefCd=22&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 軟な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成27年9月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念にある「その人がその人らしく」を大切に、支援をしています。
同法人内の医療機関と密に連携し健康の管理や定期、緊急受診に対応しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

目標を「家族が集う事業所」として様々試行して成果をだしている事業所です。年末は忙しいだろうと恒例行事の餅つきを年明けに企画したり、面会は「いつでも来られる時に」と繰り返し伝え、中には嫁いだ娘たちが毎日順番に訪れる人もいます。また管理者をはじめ全職員が 、ウェルカム、で臨み、必ず「ありがとうございます」の言葉を添えるのを習慣としている姿勢も高く評価され、何組もの家族がまるで我が家のように出入りする様子も視認しました。ホスピタリティのサービス体制は職員意欲にもプラスに働き、「此処はいい、働きやすい」と勧める職員紹介で2名の採用も決まり、欠員がでても求人を出さず人員補充が叶っています。

Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
	項 目 取り組みの成果 ↓該当するものに○印			取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	① 1. ほぼ全ての利用者が2. 利用者の2/3くらいが3. 利用者の1/3くらいが4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
0	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔					

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自	外項目		自己評価	外部評価	5
己	部	垻 日	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.B	里念に	基づく運営			
1	, ,	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	管理者と職員は全員で作った自設の理念を 基に実践につなげる努力を行っている。	玄関のほか2階にも掲示され、「理念の根底にある "三つの無理をなくす、は利用者だけでなく職員にも言える」とする包容力のある管理者の下、職員も利用者や同僚にゆったりとした働きがけができています。	
2		〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	にも声をかけ、交流に勤めている、また地域	事業所が開設した後増えた住民のためか垣根がなく、向かいの幼子が遊びに来たり、「何かあれば…」と心強い言葉がもらえ、駐車場で観覧する蓮華寺花火は自然に10名ほどが加わり一緒に愉しみました。	
3		活かしている	認知症の人の理解や支援の方法を生かし 地域の飲食店を利用するなどして地域貢献 に勤めている。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	運営推進会議では、施設でのサービスの取り組み状況の話し合いを行い、その時の意見を取り入れサービス向上に生かしている。	行政、地域、家族、利用者と多彩なメンバー 構成で奇数月に定期開催され、具体的で活 発な質問が溢れる議事録からは事業所への 関心の高さを受けとめることができます。特 に防災面ではメリットを享受しています。	
5	,	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝 えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村担当者には運営推進会議に必ず出 席して頂き事業所の取り組み等の状況提供 を行っている。認知症サポーター事業にも参 画している。	昨年目標とした「キャラバンメイト活動を通じ市との協力関係を今以上に〜」では、行政主催の養成講座には管理者が講師を務め、また職員も現在8割が受講済となり、認知症家族の支え合いの一助を担っています。	
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が禁止の対象となる行為を正し く理解し、身体拘束をしないケアの取り組み を行っている。	家族が頻回に訪れ本人の笑顔を見てもらえれば拘束のない暮らしが証明できると考えています。折に触れ「身体拘束ゼロ宣言施設である」ことを職員に伝え、玄関施錠もなく、ユニットの自動ロックはボタンーつで利用者でも解除でき自由に往来できる環境にあります。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につい て学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で の虐待が見過ごされることがないよう注意を払 い、防止に努めている	管理者や職員は高齢者虐待防止関連法に ついて冊子などで学び虐待の無いよう注意 を払い防止に努めている。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	ш
自己	部	現 日 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	管理者や職員は日常生活支援事業の必要性がある場合活用に心がけており、成年後 見人制度を活用している利用者を支援して いた経験が複数ある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	契約の締結、解約また改定等の際は利用者、ご家族等に説明を行い理解、納得を頂いている。説明を受けたことの署名をもらっている。		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	利用者や家族等の意見、要望を管理者、職員は理解し運営に反映させ、毎月「実夢タイムズ」という事業所便りを発行している。	面会は「いつでもかまわない、来られる時に 来てほしい」と繰り返し伝え、また管理者をは じめ全職員が "ウェルカム" の気持ちで臨 み、必ず「ありがとうございます」の言葉を添 えるのを習慣としています。	
11	(7)	〇運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者、管理者は懇親会などを開き職員の 意見、提案を聞き反映させている。管理者 は職員と話しやすい雰囲気を作り意見や提 案を出しやすくしている。	「良いところを認めて伸ばすように」と管理者は接していて、職員紹介で2名の採用が決まった例からも、伸び伸びとした職場環境が覗えます。ユニットリーダーを置かず、日替わりの任命方式が責任感を育てています。	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	代表者は各状況を把握し、向上心を持って 働けるよう環境・条件の整備に努めている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	代表者は、管理者や職員一人ひとりの力量を把握し、研修の確保やトレーニングを行っている。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	同法人内の他施設と交流を図り、毎月の研 修勉強会に参加、サービスの質向上の取り 組みを行っている。		

自	外		自己評価	外部評価	
自己	部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II . 3	ኛ 心 ሪ	【信頼に向けた関係づくりと支援 ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者本人が困っていること、不安、要望に 寄添った話しに向かい合い、本人の安心で きる関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	ご家族の困っていること、不安、要望に添った話し合いを行い、ご家族が安心、納得できるような様な関係作りに努めている。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「そ の時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入の時点で子細なアセスメントを 行い、適切な支援、サービス利用の提供に 努めている。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者と暮らしを共にする者同士の 関係を築くよう努力をし、おおむねその関係 になっている。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	職員はご家族を支えながら協力を仰ぎ、共 に利用者を支えることを心がけている。		
20	(8)	〇馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの人、場所が途切れないでいる利用 者もいるが上手く関係の継続が出来ていな い人もいる。	向精神薬を6種類から1錠まで減らすことができ、服用中の険しい形相が頭から離れない家族から「怖くて会いに(面会に)来られなかったが、目の輝きがまったく違う」と、驚きと喜びの声が届いています。	
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	利用者同士の関係を理解し、孤立せずによ り良い関わり合いが出来るよう注意し努めて いる。		

白	外		自己評価	外部評価	
自己	外部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても関係の継続に努 め必要とされれば相談にのっている。		
Ⅲ.		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	アセスメントにセンター方式を一部使って、 本人の思いや希望、意向の把握に努め、本 人本位に検討をしている。	ケアマネージャーと計画作成担当者がセンター方式『私の姿と気持ちシート』を通じて本人が望むことを探っています。親戚の集いで「帰る」と途中で戻ってきてしまった例からは此処での暮らしの充実さが分かります。	
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、ご家族の協力を得てフェイスシート、 アセスメントシートに適切な情報を多く入れ、 職員の情報共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	毎日常に一人一人の心身状態や日々の様子の変化に気を付け、把握に心がけている。		
26			現状に即した介護計画の作成に努めている。 ケアプラン作成時にはケア連絡表からの情報や職員より意見を聞き取りモニタリングに 反映している。	プランは個人別支援経過記録の冒頭ページ に添付し、「計画に沿った支援を」と職員に呼 びかけています。また変更は漏れがないよう ケア連絡帳に具体的な内容、指示を記述の うえ朝の申送りでも説明しています。	家族意見は面会時に聴取し、現在特段の場を設けてサービス担当者会議はおこなっていないため、今後の是正を期待します。
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている			
28			本人や家族のニーズに対応した柔軟なサービス提供に心がけ、多様化に向けて取り組めるように努力している。		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	ш
	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の利用を上手に活用できるように 心掛けている。		
30	. ,	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にした主治医 との連携をとり、医療連携をとるなどより良 い関係を築いて適切な医療を受けられてい る。	「昔からお世話になっている先生だし、受診くらいは手伝いたい」との家族意向で、全体の2割程がかかりつけ医を継続しています。協力医へは職員が付き添い、予約電話を以てスムーズな受診が叶っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	職員は入居者の日々の変化、体調などの気 づきに対して、看護師と相談し適切な看護 や受診が行えている。		
32		そうした場合に備えて病院関係者との関係づくり を行っている。	医療機関は同法人内にもあり医療連携がある。入院時を含め病院との連絡、情報の提供は密にとれており、良い関係を築けている。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでい る	と話をし施設で出来る事の説明を入所時に行っている。法人本部の病院関係者との関	『重度化した場合の対応に係る指針』に準じて「ターミナルケアまで可能」と解説して契約入居に至っていますが、実績はなく現在重度化対象者もいません。看取りとなれば、協力医が往診のできる近隣医療機関に紹介状を書いてくれることになっています。	
34		〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	利用者の急変時や事故発生時に備えマニュ アルを整備し迅速な対応ができるよう心掛 けている。		
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につけると ともに、地域との協力体制を築いている	独自の非常用避難スロープを製作したうえで年2回の定期的な訓練を実施し、地域と の協力体制を築いている。	防災面では自治会長の関心も高く、過去には事業所の訓練に見学に立ち寄ってくれたこともあり、「食糧だけでなくトイレは?」との疑問を投げかけてくださり、スプリンクラー用貯水タンクへとつなげることができました。	

自	外	項 目	自己評価	外部評価	T
己	部	1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	(14)	人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりの人格を尊重した声かけ や対応をしている。	「声かけは個々の生活歴を踏まえ親しさのなかにも節度を持って」とし、「居室に入る時には必ず声をかける」「入浴前後はバスタオルを使って不必要な肌の露出をさける」「排泄ケ	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の希望や思いを聞き 取り、本人の意思に沿った支援を行ってい る。	アではドアを閉める」ことを遵守しています。	
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合になってしまわないように日々 その人らしい暮らしの支援を心がけている。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	本人希望の服を選んでもらいその人らしい おしゃれの支援を行っている。洗顔など整容 にも気遣い、身だしなみにも気を配るよう支 援をしている。		
40	(15)	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好み や力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備 や食事、片付けをしている	入居者一人ひとりの食事の好みを把握し、 食事の楽しみの提供、配膳、食器洗い等、 職員と共に行っていいる。	新鮮さにこだわり農協やスーパーへと毎日足を運ぶほか、庭には夏野菜がたくさん実り、 今後はさつま芋の収穫が待たれます。本年 はエゴマの葉を炒ってふりかけにしたり、そう めん流しが特に好評でした。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応 じた支援をしている	一人ひとりの食事量、水分摂取量に気を配り、本人の摂取しやすい食事形態の提供を 行っている。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケア をしている	毎食後に各利用者に合わせた口腔ケアを 行い口腔内の清潔を図っている。臥床時に は入歯を洗浄剤に浸けている。		

自	外	- -	自己評価	外部評価	ш
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	安易にオムツ使用の無いように支援し、個 人に合った排泄方法やトイレ誘導時間を設 定している。	オムツ使用者はなく、日中はトイレでを基本としています。オムツからの向上を試みていますが、一律に布パンツとは考えておらず、失敗した時の精神的ショックも考え合わせ、本人が快適に思う方法をとっています。	
44		〇便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	普段から便秘予防に気を配り飲食物の工夫をしている。必要によっては医師からの指示をもらい薬での対応をしている。薬も調整をして適切な排泄ができるよう支援している。		
45		〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の希望に合わせ日のあかない様調整 をして温度、入浴時間を適切に管理し楽しく 入浴ができるよう支援している。	1階がリフト浴、2階は一般浴を配し、「安心できる」としてリフト浴を選ぶ人が5~6名います。週2~3回をめやすに曜日は決めず、拒否があっても「今日は草津の湯だよ」と誘われて快く浴室に向かえる人もいます。	
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望に応じて休息や夜間睡眠が良いものとなる様、各利用者に合わせて支援 している。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	各入居者の処方薬の目的を理解して服薬 後の症状の変化に注意している。場合に よっては医師に相談をして調節を行ってる。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の生活の中で一人ひとりに合わせた楽 しみや居心地の良い場の提供を心がけて支 援している。		
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に添った外出はある程度 出来ており、家族の協力を得て出かけられ るよう支援している。	気分転換の買い物や季節の花々を愛でる散歩が日々慣行されています。外食レクリエーションが年1回企画され、ショーケースから食べたいものを眺める愉しさは人気が高く、そんなときは介助が必要な人も自力で食べることができています。	

自己	外	項目	自己評価	外部評価	西
己	部	- リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持をされている入居者もおり、希望 や力に応じてお金の使用ができるように支 援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	本人の希望時には自由な電話の使用を支援し、手紙のやり取りも自由に行っている。		
52	(19)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間には不快なモノ、混乱を招くようなモノを置かないようにしている。季節の感じられるよう時節に合った飾り物をして楽しんでいる。	廊下に置かれたソファーは読書の時間を過ごす専用スペースとして活用され、花瓶には百日草や小菊が揺れ、掲示の書道作品には折り紙で作った紅葉をあしらい秋らしさが感じられます。装飾品は最小限にとどめたリビングはスッキリとして清掃も行き届いています。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	一人になれたり、気の合った仲間が過ごせ るような居場所の工夫をしている。		
54	(20)	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	ものや好みのものを置き落ち着いて過ごし	家族写真やぬいぐるみ、リクライニングチェア、テレビ、位牌、扇風機、壁掛け時計と、多様な持ち込みを視認しました。「(敬老会で装飾に使った)輪飾りが欲しい」との要望から壁いっぱいに吊った居室もありました。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	一人ひとりの力に合わせ安全かつ自由な生 活ができるよう心掛けている。		